

糸魚川市 山の魅力アップ 推進計画



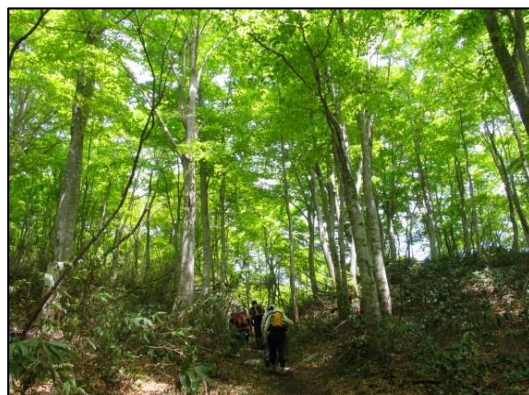
妙高戸隠連山国立公園（雨飾山）



中部山岳国立公園（蓮華の山並み）



柵海新道



戸倉山



平成 29 年 3 月



新潟県糸魚川市



糸魚川市山の魅力アップ推進計画

目次

1	目的	1
2	計画期間	2
3	計画策定の経緯	2
	(1) 検討委員会	
	(2) 検討委員会実施経過	
4	登山客の現状	3
	(1) 全国の登山者数の推移	
	(2) 糸魚川市の登山者数の推移	
	(3) 糸魚川市の登山者数の推移（登山道別）	
	(4) 市内観光客に占める登山者数割合	
	(5) 現状のまとめ	
5	推進計画の検討	7
	(1) 魅力・課題の意見出し（結果）	
	(2) ワークショップまとめ	
6	山の魅力アップ推進事業計画	9
7	計画の推進に向けて	12
8	検討委員会	13
9	写真紹介	14

1 目的

糸魚川市は面積の9割以上が山林地域となっており、四季を通して山岳、溪谷、森林など変化に富んだ個性豊かな自然を楽しむことができます。また、市内には平成27年3月に上信越高原国立公園から分離独立して誕生した妙高戸隠連山国立公園と中部山岳国立公園の2つを有しています。

当市は、平成21年に日本初の世界ジオパークに認定され、この2つの国立公園に代表される貴重な地域の自然・文化をまもり、かつ多くの人に知ってもらい訪れてもらうことを目的の1つとして活動をおこなっています。しかしこの国立公園については、保護・保全が重視され、活用の取組が十分ではありませんでした。この国立公園内には糸魚川を代表する山々も含まれており活用策を検討することが急務であり課題となっています。

昨年、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ことを趣旨として国民の祝日「山の日」が制定されたことで、山への注目が集まり、登山の人気は益々高まりつつあります。

現在、市内には多数の登山道が存在していますが、その多くは、新潟県が制作する「山のグレーディング表」（体力度と技術的難易度で評価）においても難易度が高いルートとして紹介されており、全国の山々で様々な登山を経験した熟練者にも十分に満足していただける登山道となっています。

市内には熟練者向け登山道以外にも、登山道中の危険個所が少なく、初心者でも軽装で気軽に登山を楽しめる登山道も数多く、更には、かつて戦国時代にその山頂に山城を有し、当時の歴史・ロマンを体感できる登山道も有しています。

このように、市内には様々なレベルや目的を持った登山者に糸魚川を満喫していただける魅力的な登山道が数多く存在しています。

これらの多様な登山道へ多くの方からお越しいただくためには、初心者から上級者まで様々な登山者をターゲットに、この魅力的な登山道を市内外に向けてどのように情報発信していくかということも重要な課題となっています。

平成27年3月には、北陸新幹線も開業し、首都圏及び関西圏からのアクセスが飛躍的に改善しており、交流人口拡大のチャンスは大きく広がっています。

この計画は、市内の山々に関する現状の課題を把握し解決することで、全国から多くの登山者に来訪していただき、糸魚川市が持つ魅力ある自然を満喫していただくことを目的として策定するものです。

2 計画期間

平成 29 年 4 月 1 日～平成 39 年 3 月 31 日

3 計画策定の経緯

(1) 検討委員会

山に関わる観光関係事業者、交通事業関係者などから構成する検討委員会を組織してワークショップ形式で市内の山々の現状や課題を出し合い、その意見を整理しながら課題に対する解決策の検討をおこないました。

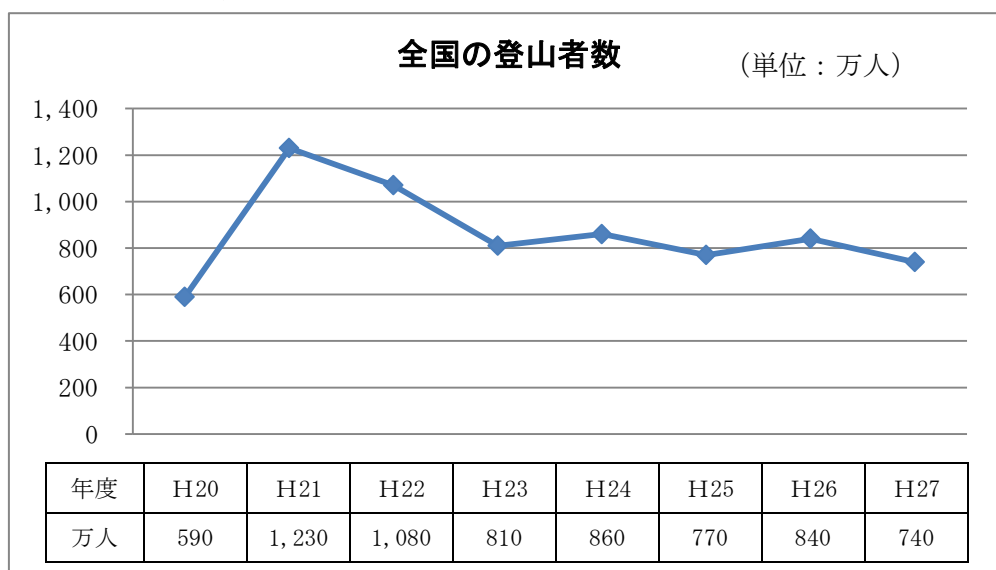
(2) 検討委員会実施経過

- ① 第 1 回検討委員会 平成 28 年 10 月 20 日
 - ・委員会の役割、規約確認
 - ・委員長の選任
 - ・スケジュール確認
- ② 第 2 回検討委員会 平成 28 年 11 月 10 日
 - ・現状把握、山々の課題出し
- ③ 第 3 回検討委員会 平成 28 年 12 月 8 日
 - ・山々の課題についての解決策検討
- ④ 第 4 回検討委員会 平成 29 年 1 月 19 日
 - ・山の魅力アップ推進計画（素案）確認
- ⑤ 第 5 回検討委員会 平成 29 年 3 月 13 日
 - ・山の魅力アップ推進計画（案）最終確認



4 登山客の現状

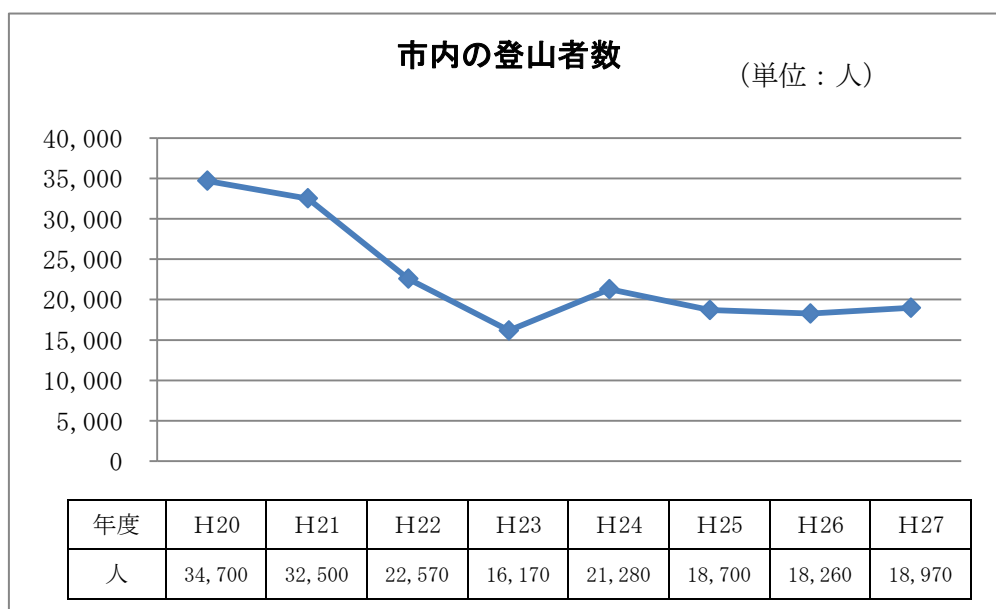
(1) 全国の登山者数の推移



【出典「レジャー白書」】

平成 21 年には流行語大賞の候補にも選ばれた「山ガール」ブームの影響もあり平成 20 年に 600 万人程度であった登山人口は 1,230 万人と倍増しました。しかし、その後は、800 万人前後でほぼ横ばいで推移しています。

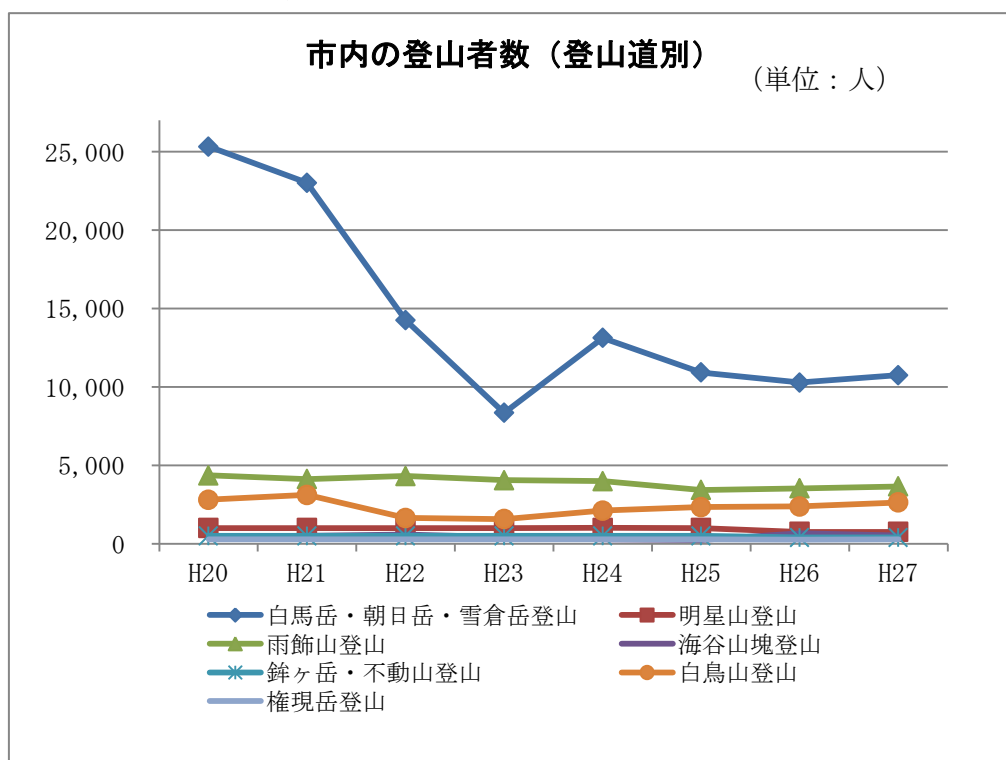
(2) 糸魚川市の登山者数の推移



【出典「糸魚川市観光動態調査」】

糸魚川市は平成 21 年の全国的な登山ブームの影響は受けない結果となっています。平成 23 年には平成 20 年の約半数の登山者数となりましたが、減少は下げ止まり、その後は 18,000 人程度で推移しています。

(3) 糸魚川市の登山者数の推移（登山道別）



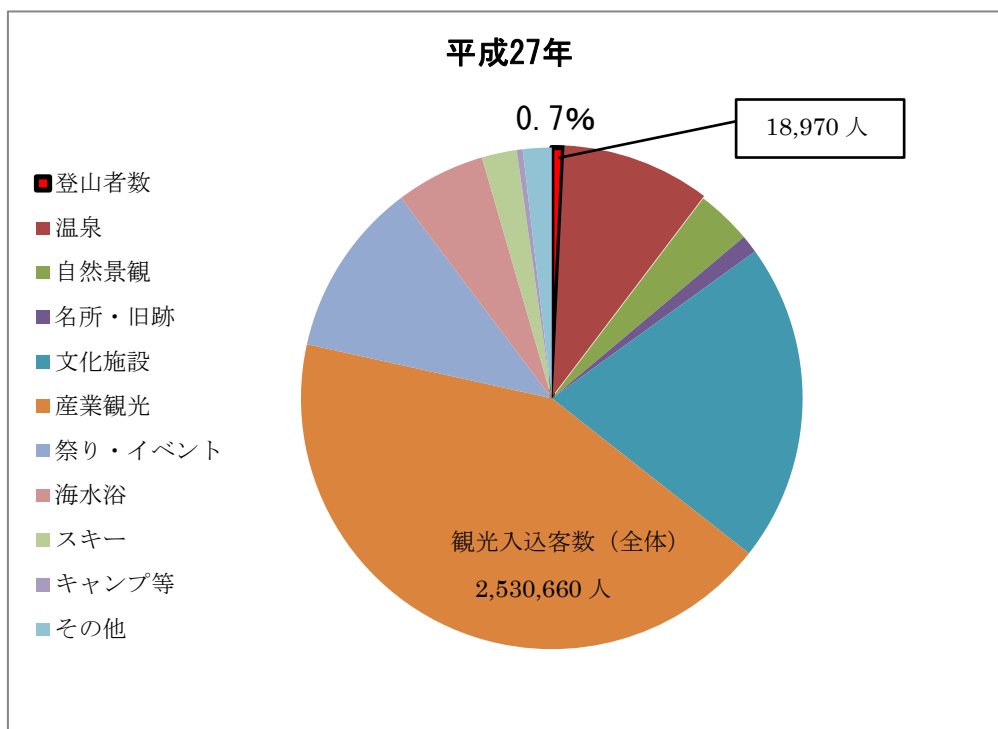
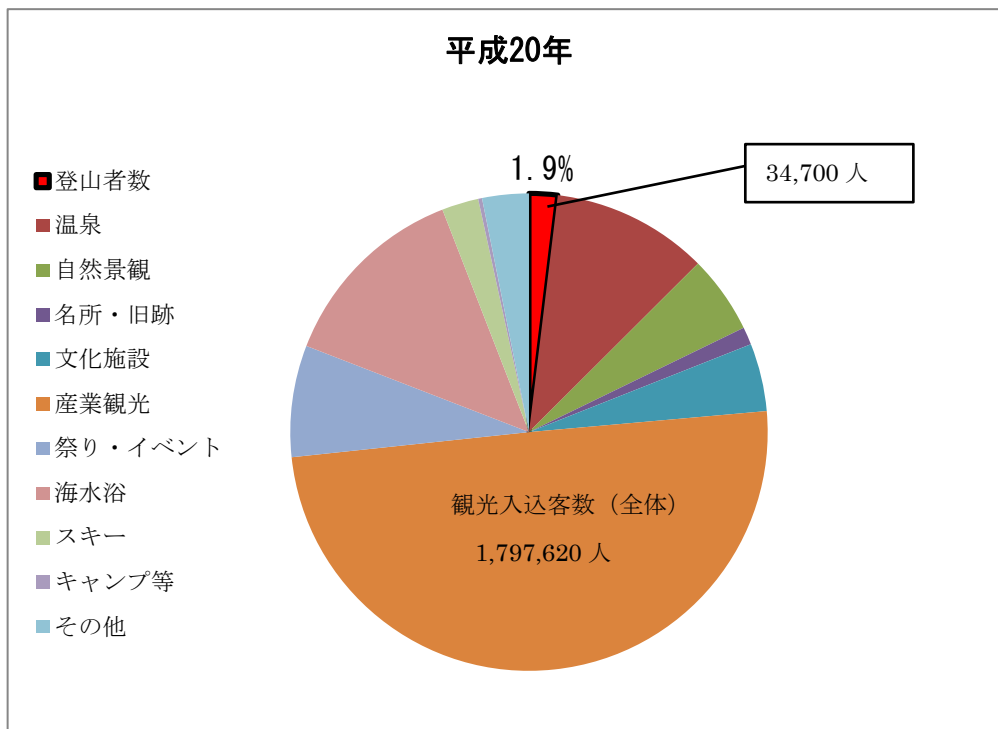
(単位：人)

市内の登山者数	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
白馬岳・朝日岳・雪倉岳登山	25,320	23,010	14,260	8,350	13,120	10,920	10,280	10,750
雨飾山登山	4,360	4,120	4,310	4,050	3,990	3,430	3,530	3,650
白鳥山登山	2,800	3,110	1,640	1,570	2,110	2,340	2,380	2,630
明星山登山	1,000	1,000	1,000	1,000	1,010	1,000	750	750
鉾ヶ岳・不動山登山	500	500	500	500	500	500	400	400
海谷山塊登山	440	500	580	420	270	230	660	520
権現岳登山	280	280	280	280	280	280	260	270
計	34,700	32,520	22,570	16,170	21,280	18,700	18,260	18,970

【出展「糸魚川市観光動態調査」】

市内の登山者数を登山道別で見ると、「白馬岳・朝日岳・雪倉岳登山」が最多であり、2番目の雨飾山登山道の3倍近くの登山者数となります。3番目に多い白鳥山は、「梅海新道」を構成する山のひとつであり、登山熟練者から根強い人気があることがうかがえます。

(4) 市内観光客に占める登山者数割合



【出典「糸魚川市観光動態調査」】

平成 27 年の市内観光客数に占める登山者数割合は 0.7 パーセントでした。
最も高い平成 20 年でも 1.9 パーセントと全体に占める登山者数の割合は低い
数値になっています。

(5) 現状のまとめ

登山者数は、平成 21 年に「山ガール」ブームの影響で全国的には前年から倍増していますが、当市においてはその影響は受けず、平成 20 年と比較すると、登山者数が減少する集計結果となっています。その後の市内登山者数は、全国と同様に平成 22・23 年に減少した後、平成 24 年には一時 2 万 1 千人に回復、平成 25 年以降は、1 万 8 千人前後で推移しています。

また、直近の平成 27 年における市内観光入込客数に占める登山者数の割合も 0.7 パーセントとなっており、平成 20 年の 1.9 パーセントの約 3 分の 1 となっています。

日本百名山にも選定されている雨飾山の登山者数が白馬岳と比較しても低い事から魅力の向上を図ることにより登山者数を増加させることが可能であると考えられます。その他の山々の登山者数も観光入込客数全体の割合から見て十分伸ばせる余地があります。

全国的な「山ガール」ブーム時に市内の登山者数が逆に減少していることから市内を訪れる若い世代の登山客が少ないことがうかがえます。

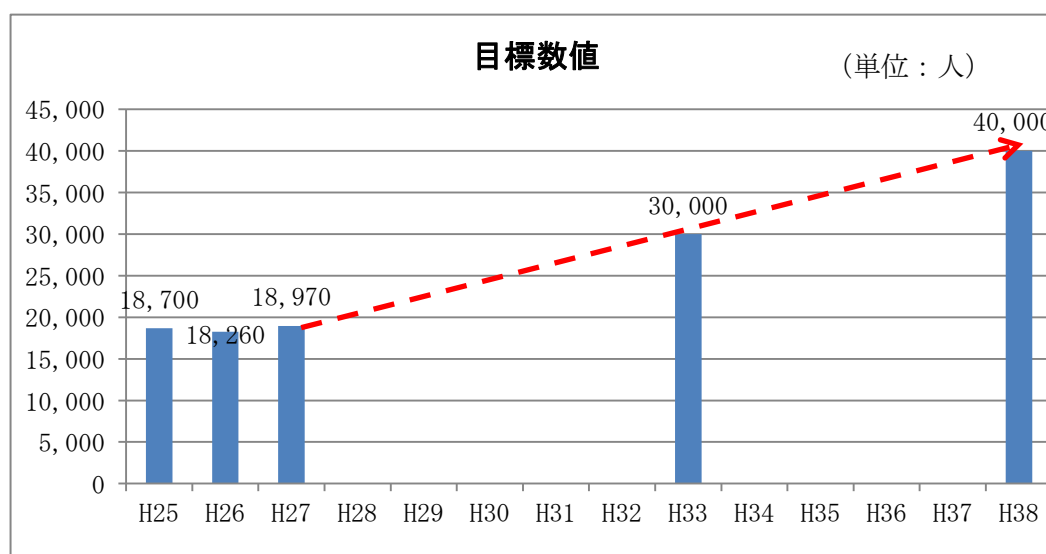
市内登山客を増加させるためには、リピーターを増加させるための取り組み及び 40 代以下の若壮年世代をターゲットにした情報発信が重要であると考えられます。

このことから、山の魅力アップ推進計画を策定し、山々の魅力を向上させることで登山者数を増加させることが必要です。

【目標数値】

5 年後（平成 33 年度） 3 万人

10 年後（平成 38 年度） 4 万人



(2) ワークショップまとめ

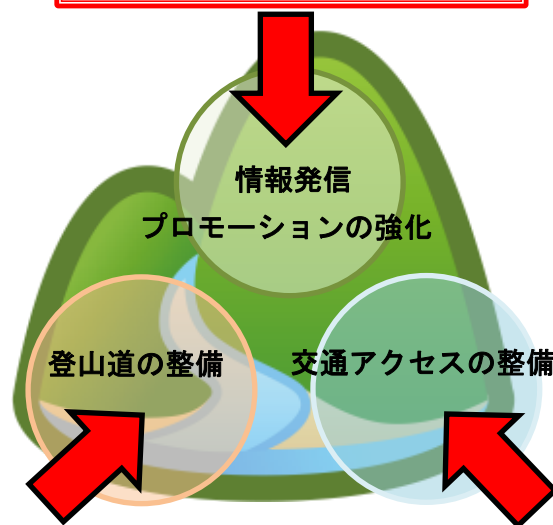
山々の魅力をアップさせるために出された様々な魅力と課題を整理しました。

【魅力】

- ・ 四季折々の風景が楽しめる
- ・ 豊富な高山植物
- ・ バックカントリースキー等、豊富なアクティビティ
- ・ 上級者向けの登山道が豊富
- ・ 初心者でも気軽に登山ができる
- ・ 貴重な蝶及びサンショウウオ等が生息している
- ・ 山頂は上杉家の城郭があった場所であり歴史を感じられる

【課題】

- ・ 糸魚川の山々の知名度が低い
- ・ 登山道に関する情報が少ない
- ・ 登山道の難易度がわからない



【課題】

- ・ 定期的な登山道の保守作業が必要
- ・ 携帯不感地帯が多く救助要請に時間がかかる
- ・ 鎖場、登山道の整備が必要

【課題】

- ・ 登山道入口への交通アクセス
- ・ 駐車場が狭く、シーズン中に車道で縦列駐車が発生している
- ・ 登山後に利用できる交通アクセスの整備

山の魅力をアップさせるための課題を整理すると、主要課題として「情報発信・プロモーションの強化」、「登山道の整備」、「交通アクセスの整備」の3つのカテゴリーに大別することができました。更にこのカテゴリー別に山の魅力をアップさせ交流人口の拡大を図るための事業計画の検討をおこないました。

6 山の魅力アップ推進事業計画

3つの主要課題に対して具体的な解決策の検討をおこない下記のとおり事業計画を策定いたしました。

主要課題	解決策	時期	内容
情報発信・プロモーションの強化	プロモーションビデオ制作	前期	主要な登山道の名所、水場、頂上で見渡せる絶景を撮影し公開することで、山をPRするとともに登山未経験者に対して登山への関心を促す
			定期的に糸魚川駅や観光施設等で放映することにより、市内を訪れる観光客へPRする
			インターネットにおいてプロモーションビデオを視聴することができるよう市及び観光協会ホームページへアップする
	登山ガイドマップ制作	前期	初心者でも登山に関する情報が見やすくわかり易い「登山ガイドマップ」を制作し配布する
			植物、生き物、文化等の分野別にも山を紹介する
			登山難易度（グレーディング）別に山を紹介する
	山情報のホームページ制作	前期	山に関する最新情報が入手できるホームページを制作する
			最新情報を集約するためホームページの更新作業は市内の山岳関係団体及び観光団体関係者が掲載内容の更新作業をおこなえるものとする
			登山者のレベルに応じた登山モデルコースを紹介する
	PRポスター制作	中期	糸魚川市内の山の魅力を伝えられるポスターを制作する
糸魚川の山々がイメージできるようなキャッチフレーズを考案して掲載する			
市内の観光関連施設に掲示するとともに、市外への観光PRでの活用や首都圏への掲示をすすめる			

主要課題	解決策	時期	内容
登山道等の整備	なぎ払い実施体制の構築	前期	人手不足、高齢化等によりなぎ払いが実施できない登山道が発生しないよう現在のなぎ払い実施体制を再検討する
			ボランティアやイベントを活用した実施を検討する
	階段・ロープ等の整備	前期	登山道の整備に必要な階段杭、ロープ、マーキングテープ等の物品を実施団体へ配布する
			ボランティアやイベントを活用した実施を検討する
	携帯電話不感地域の解消	中期	携帯電話不感地域の把握をおこなう
			基地局設置や電波増幅等改善に必要な措置を通信事業者等へ要請する
			携帯電話利用可能区域の周知をおこなう
	山小屋の改善	中期	老朽箇所の整備をおこなう
			トイレ機能を向上させる
			有料化について検討をおこなう
退避小屋等の設置	後期	避難小屋等の設置に向けて現地調査を行う	
		焼山に避難小屋や避難壕の設置を検討する	
新たな登山道の開拓	後期	魅力あふれる登山道の新規開拓について検討をおこなう	

主要課題	解決策	時期	内容
交通アクセスの整備	二次交通の整備	前期	糸魚川の玄関口である「糸魚川駅」から「白馬岳」、「雨飾山」等主要登山道入口への二次交通の整備をおこなう
			蓮華温泉～親不知間の連絡バス運行の検討をおこなう。
			整備後に利用実績の分析をおこない利用者の利便性を向上させるため効率的な運行をおこなう
	駐車場の整備	後期	登山者数が最も多い「白馬岳」、「朝日岳」、「雪倉岳」登山ルート拠点となる蓮華温泉駐車場の拡張及びシャトルバス運行について検討をおこなう
			平岩駐車場の利用促進をおこなう
			登山道入口及び駐車場への案内表示板の整備をおこなう



権現岳



駒ヶ岳登山道

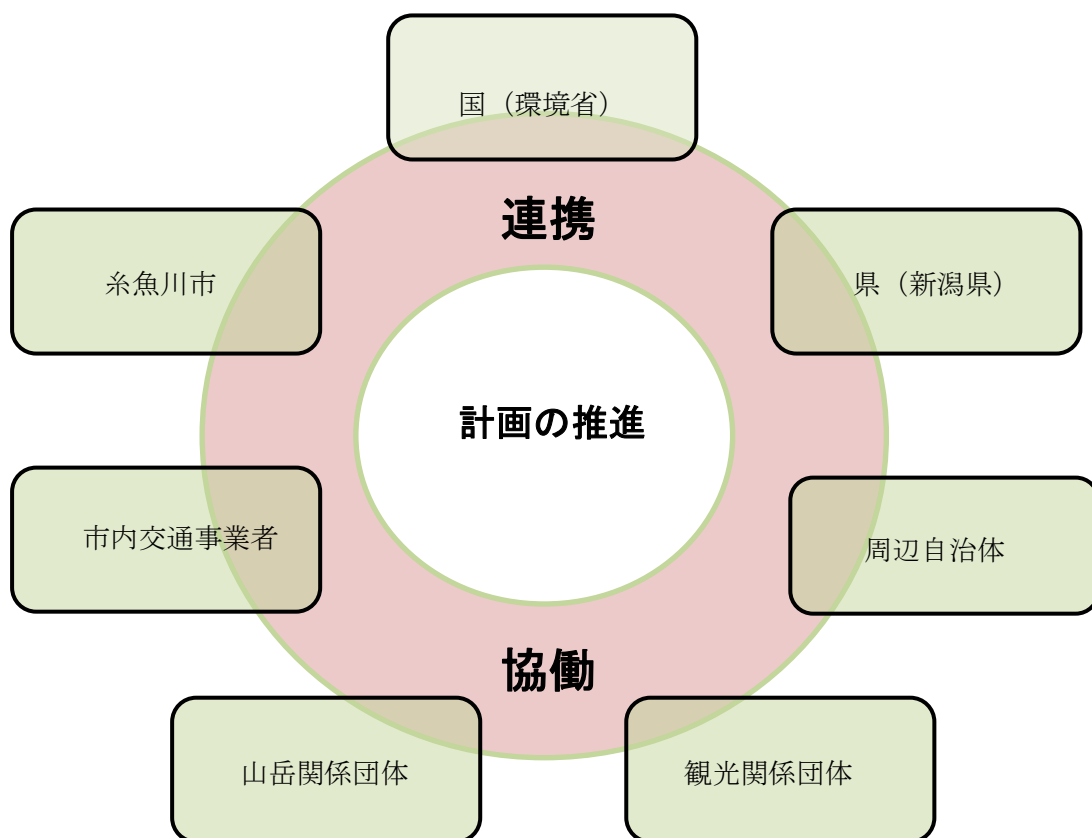
7 計画の推進に向けて

計画の推進にあたっては、市と環境省、新潟県及び山岳関係団体・観光関係団体が一体となり事業を進めていくことが重要であり、行政と民間団体の協働による取り組みが必要となります。このためには行政と民間団体が情報を共有し、相互理解を深める必要があります。そのため、推進計画に関する情報を広報紙やホームページなど多様な媒体を活用し、広く市民に周知し、意識啓発を図る必要があります。また、推進計画の充実に関わる様々な意見の収集に努めるなど、関係団体との情報交流を進めます。

推進計画に関する活動をより活性化させるため、計画を推進する新たな取り組みを積極的に支援する仕組みについても考える必要があります。また、関係団体がそれぞれの役割を着実に推進していくことが大切です。

取組を効果的に進めるためには、対象を市域だけに限定せず、隣接する妙高市、小谷村、朝日町との周辺自治体との連携等も考慮する等、できるだけ広域的視点に立って対策の推進を行う必要があります。

検討委員会において把握された地域の課題やニーズ等を踏まえ、相互に協力・連携しながら計画を推進します。



8 検討委員会

	団体名	氏名
山岳関係団体	権現たいまつ登山保存会	斉藤 ハルエ
	火打シャルマン友の会	清水 文男
	糸魚川山岳連盟	清水 一信
	糸魚川山岳連盟	中村 光信
	カタクリクラブ	小野 茂信
	拇海新道整備グループさわがに	斉藤 八朗
観光関係団体	観光協会	齋藤 浩
		榮 真一
		菅原 貴寛
		西澤 敏一
		田原 伸男
		木島 一
		尾崎 毅
		井出 貴美
	長野 ひとみ	
	糸魚川ジオパーク観光ガイドの会	渡辺 久
交通事業者	糸魚川バス株式会社	広幡 幸江
	糸魚川ハイヤー協会	金子 浩
新潟県	糸魚川地域振興局	佐藤 友哉

オブザーバー 環境省	長野自然環境事務所 妙高高原自然保護官事務所	佐藤 一交
---------------	---------------------------	-------

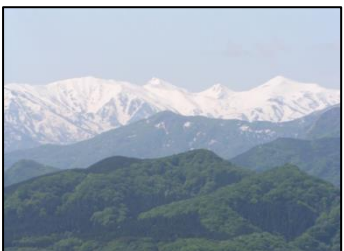
事務局	交流観光課	渡辺 成剛
		小竹 貴志
		細井 済
	糸魚川ジオパーク協議会事務局	鳥越 寛子
	能生事務所	小林 啓三
	青海事務所	山岸 由尚

9 写真紹介



表紙： 妙高戸隠連山国立公園（雨飾山）

- ① 標高 1,963m
「日本百名山」ひとつに数えられている双耳峰の山
雨飾温泉登山口から山頂まで約4時間



表紙： 中部山岳国立公園（蓮華の山並み）

- ② 左から「小蓮華山」「白馬岳」「旭岳」「鉢ヶ岳」「雪倉岳」
※「小蓮華山」の標高は2,766mで新潟県最高峰



表紙： 梅海新道

- ③ 海拔0mの日本海から3,000mの北アルプスを結ぶ登山道
黒岩山山頂から犬ヶ岳を望む
豊富な高山植物が生育している
登山口から2泊3日のコース



表紙： 戸倉山

- ④ 標高 975m
「塩の道」沿いに広がる美しいブナ林
しろ池の森駐車場から45分



11P： 権現岳

- ⑤ 標高 1,104m
鉢ヶ岳と連なる大きな岩の塊の様相の権現岳は霊峰と呼ばれ
山頂下には白山権現（白山奥社）が祀られている。
柵口登山口から山頂まで約2時間40分



11P： 駒ヶ岳登山道

- ⑥ 標高 1,487m
駒ヶ岳の絶壁沿いを進む「駒ヶ岳から鬼ヶ面山・鋸岳
縦走コース」はスリル満点の熟練者向け
海谷三峽パークキャンプ場から山頂まで約3時間20分

編集／発行 糸魚川市産業部交流観光課

〒941-8501 新潟県糸魚川市一の宮1丁目2番5号

TEL 025-552-1511

平成29年3月発行

